

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-075913

(43)Date of publication of application : 18.03.1994

(51)Int.Cl.

G06F 15/00

G06F 3/14

(21)Application number : 04-225459

(71)Applicant : NEC SOFTWARE KANSAI LTD

(22)Date of filing : 25.08.1992

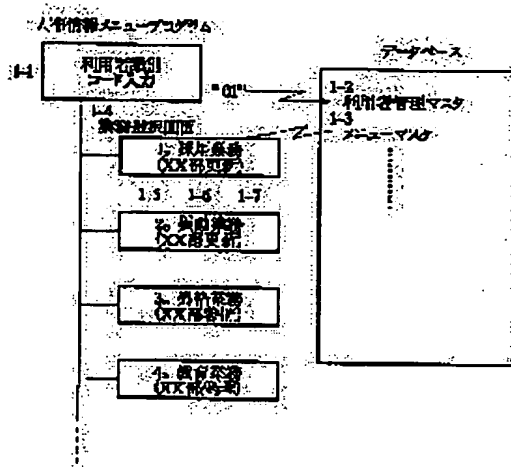
(72)Inventor : YOSHIDA SAKIKO

(54) UTILIZATION RIGHT MENUE DISPLAY SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent secrecy by inputting the identification code of a user, displaying only a name capable of being processed for the identification code and displaying the job menu corresponding to the user.

CONSTITUTION: A user identification code is made to be inputted on a program, a user control master is read by the code and the only job having a utilization right is displayed from a menu master. Namely '01' is inputted as the user identification code in a personnel information menu program 1-1 and the user control master of 1-2 is retrieved by the code. Next, the menu master of 1-3 is retrieved and the only job on which the utilization right is present is displayed as a job selection screen 1-4 by the menu master. At this time, the mane of job is filled in, set and displayed like the name of job in 1-5, the utilization right assignment of user control master: XX part in 1-6 and a processing right in 1-7. When the user identification code is inputted by '02', the job selection screen corresponding to the '02' of the user control master is displayed and secrecy is prevented by each user.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-75913

(43)公開日 平成6年(1994)3月18日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/00	3 1 0 S	7459-5L		
3/14	3 4 0 B	7165-5B		

審査請求 未請求 請求項の数3(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-225459

(22)出願日 平成4年(1992)8月25日

(71)出願人 390001395

関西日本電気ソフトウェア株式会社
大阪府大阪市中央区城見1丁目4番24号

(72)発明者 吉田 咲子

大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号関
西日本電気ソフトウェア株式会社内

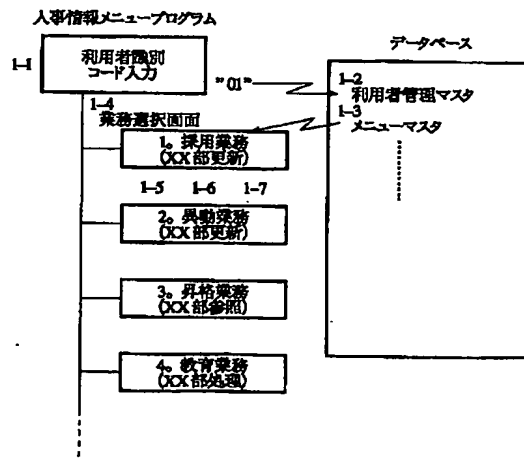
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 利用権メニュー表示方式

(57)【要約】

【構成】処理の名称を表示する前に利用者の識別コードを入力し1-1、その識別コードに対して業務選択画面1-4に処理可能な業務名1-5のみを表示する。

【効果】業務処理を行うときに利用者識別コードを与えることで、利用者に対応した業務メニューを表示することができ、操作効率の向上及び処理権利を明確に表示した機密保護が行える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 実行すべき処理の選択の方法として、あらかじめ存在する処理の名称を表示し、その中から処理を選択するメニュー方式において、処理の名称を表示する前に利用者の識別コードを入力し、その識別コードに対して処理可能な名称のみを表示することを特徴とする利用権メニュー表示方式。

【請求項2】 表示される処理の名称を、処理に階層を持たせ再下位レベルまでの処理の利用可否を判断することを特徴とする請求項1記載の利用権メニュー表示方式。

【請求項3】 再下位レベルの処理ではその処理に対してデータの範囲を絞り込み、その範囲も同時に表示し、そのデータに対してどのような処理の権利があるかを表示することを特徴とする請求項2記載の利用権メニュー表示方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は利用権メニュー表示方式に関し、特にコンピューターで実行される処理を選択するときの利用権メニュー表示方式に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、メニューの表示方法としては利用者に依存せず、固定位置でのメニュー表示方式が用いられていた。この場合、利用者によっては如何なる処理が存在するか知られたくない場合もメニューに表示されるため、機密保護という点で運用上問題が発生していた。

【0003】 あるいは、利用者により表示項目を調整する場合も単に利用権があるかないかのみを判断して表示していた為、処理選択時における、処理対象としてのデータ範囲の明示は行われていなかった。例えば、図3に示すような人事情報システムの場合、人事考課業務については管理者に対するシステムであるため、各担当者には不要なメニューであり、また知られたくない業務である。

【0004】 管理者に対しても、部長であるならばその部以外の考課情報は不要である。また管理者の権限として、考課情報を変更する権利、参照する権利と1つの業務に対しても処理内容に対する権利はそれぞれに存在する。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 上述のように従来のメニュー表示方式では、利用者に関わらずすべてのシステム名称を表示していたために、次のような問題点を抱えていた。

(1) 不要なメニューを表示していたために、操作効率の低下原因となっていた。

(2) 機密保護上の問題があった。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明による利用権メニュー表示方式は、利用者は初めに利用者識別コードを入力し、そのコードをキーとしてあらかじめ設定してある利用者管理マスタを検索し、利用権が存在する業務・データ範囲・処理権利を判断した結果、利用権が存在する業務名をメニューマスタより設定し、データ範囲、処理権利を埋め込み表示する。

【0007】

10 【実施例】 次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。本実施例においてはメニュー画面は固定名称・固定位置に表示するのではなく、プログラム上で利用者識別コードを入力させ、そのコードより利用者管理マスタを読み込み、利用権がある業務のみをメニューマスタから表示する。例えば、図3で説明した人事情報システムの場合、本実施例によればまず人事情報メニュープログラムで利用者識別コードを入力させ、利用者識別コードに対応したメニュー表示を行う。図1は本発明の利用権メニュー表示方式の処理手順を示す説明図である。図1において、人事情報メニュープログラムの1-1で利用者識別コードとして"01"を入力し、そのコードより1-2の利用者管理マスタを検索する。図2に示すレコードレイアウトの利用権業務より処理権利を判断すると、業務1・2は更新権、業務3は参照権が存在し、業務4は処理権利がなく、業務5はすべての処理にたいして権利が存在することがわかる。

20 【0008】 次に1-3のメニューマスタを検索し、利用権が存在する業務のみをメニューマスタより業務選択画面1-4として表示する。このとき、業務名を1-5に利用者管理マスタの利用権所属:XX部を1-6に処理権利を1-7のように業務名に埋め込み設定して表示する。利用者識別コードを"02"で入力した場合は、利用者管理マスタの"02"に対応した業務選択画面が表示され、それぞれの利用者により機密が保たれ、かつ操作効率の向上につながる。

【0009】

40 【発明の効果】 以上説明したように、本発明の利用権メニュー表示方式は、業務処理を行うときに利用者識別コードを与えることで、利用者に対応した業務メニューを表示することができ、操作効率の向上及び処理権利を明確に表示した機密保護が行える。

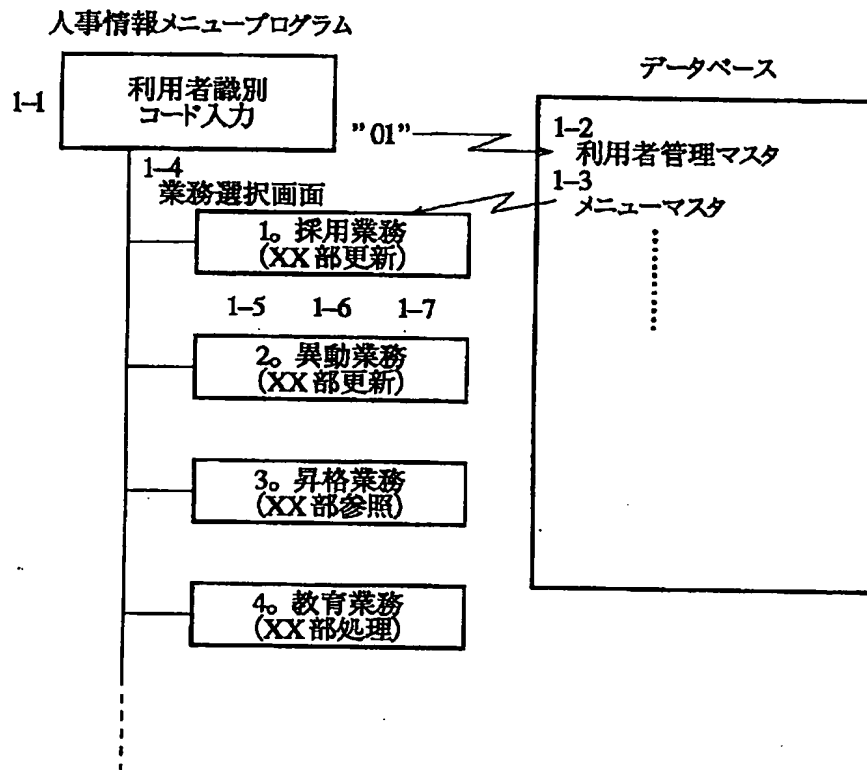
【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の利用権メニュー表示方式の一実施例を示す説明図である。

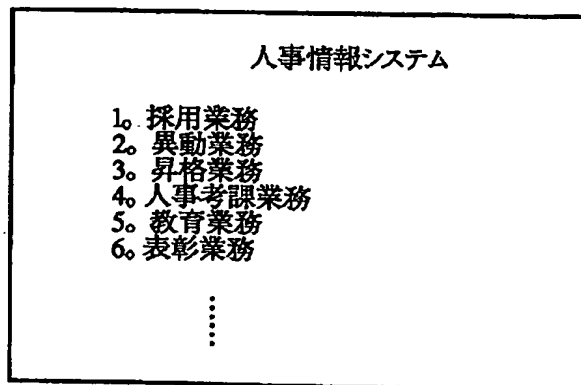
【図2】 本実施例の利用権メニュー表示方式における利用者に対応した業務メニューを表示するための利用権設定情報の説明図である。

【図3】 従来の技術のメニュー。

【図1】



【図3】



【図2】

利用者管理マスタ

識別 コード	パス ワード	利用権 所属	利用権業務						
01	11	XX部	R	R	S	N	D	N
02	12	YY部	N	S					

N : 処理利用権なし
 S : 参照権あり
 R : 更新権あり
 I : 登録権あり
 D : すべての利用権あり

メニューマスタ

メニュー レベル	選択 No.	タイトル名	業務名1	・	業務名5
			採用業務		教育業務	